令和8年7月30日 庁議議事要旨

庁議開催日		令和8年7月30日
開催時間		午前8時30分～午前10時
参加者		区長、副区長、教育長、各部長、児童相談所長、江戸川保健所長、区議会事務局長、他参与
報告①	報告タイトル	令和8年度江戸川ナンバーに係る助成金活用事業
	所管部署	経営企画部
	報告内容	江戸川ナンバーに係る助成金を活用して実施する事業を選定するにあたり、庁内および公募にて応募のあった4つの候補事業について6月1日から30日までの期間で区民アンケートを実施した。その結果をもとに江戸川区地域公共交通活性化協議会での確認を経て、実施する事業は「区PRキャラクター『エドリバー』の交通安全啓発品の作成」に決定した。10月頃に日本デザインナンバー財団からの交付決定後、年度内に実施する。
報告②	報告タイトル	令和9年度当初予算編成
	所管部署	経営企画部
	報告内容	令和9年度の当初予算編成方針として、「将来世代に向けた取り組み」「今を生きる世代に向けた取り組み」「令和9年度予算編成における取り組み」の3つを掲げた。将来世代に向けた取り組みは、長期的な視点として「2100年の江戸川区（共生社会ビジョン）」を実現するため、持続可能で明るい未来の創造に積極果敢にチャレンジする。また、中期的な視点として「2030年の江戸川区（SDGsビジョン）」を実現するため、SDGsの17の目標を達成するための具体的施策を積極的に展開する。今を生きる世代に向けた取り組みは、短期的な視点として、今を生きる全ての世代に必要な施策を「子育てするなら江戸川区」、「仕事も暮らしも江戸川区」、「歳を重ねても江戸川区」の3つに分類し、区民に寄り添った施策や事業のあり方を追求し具体化する。令和9年度予算編成における取り組みは、「えどがわビジョンマップ」を念頭に、将来世代と今を生きる世代の双方に目を向け、前例にとらわれず、ともに生きるまちの実現に有効な政策を反映すること。また、EBPMの実践により、最小の経費で最大の効果を追求する。
報告③	報告タイトル	AI接客アバターによる来庁者対応の開始
	所管部署	経営企画部・ＳＤＧｓ推進部・総務部
	報告内容	8月3日から、本庁舎総合案内に、窓口や手続きに関する案内を行うAIアバター「AIさくらさん」を新たに導入する。事前に学習した各窓口に関する情報を基に案内を行うほか、多言語にも対応し、職員と連携したサポートを提供することで、区民サービスの向上を図る。
報告④	報告タイトル	ごみ分別等のAI電話対応サービスの開始
	所管部署	環境部
	報告内容	8月5日から、資源・ごみの分別等の清掃事業に関する問い合わせについて、24時間365日対応可能なAI電話応対サービスを導入する。区民の利便性を向上させるとともに、職員が電話対応に充てる時間を縮減し、業務効率化を図ることが目的である。主な機能は、多言語に対応し、区公式HPの情報等に基づき、問い合わせ者の質問に応答する等である。
報告⑤	報告タイトル	今後の火山噴火対策（富士山）に係る庁内検討
	所管部署	危機管理部
	報告内容	火山噴火（富士山）対策について、（1）令和9年度地域防災計画の改定（2）江戸川区業務継続計画（火山噴火編）の新規作成（3）職員配備態勢（火山噴火編）の割当（4）火山噴火対策資器材の備蓄を目標に庁内検討を行い、火山噴火対策の充実を図る。
報告⑥	報告タイトル	令和8年熊本地震
	所管部署	危機管理部
	報告内容	7月28日16時27分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1最大震度7の地震が発生した。16時29分に津波注意報が発令され、18時10分に解除された。自衛隊への災害派遣要請のほか、警察、消防等の活動調整、DHEAT（被災自治体の保健所の指揮調整機能を支援）、DMAT（救急医療チーム）が派遣された。29日の熊本県第3回災害対策本部会議によると、人的被害39名、住家被害は調査中、避難所開設数465ヵ所、避難者数9,872名、県内約36,700戸で停電が発生、ガス・通信についての情報は収集中である。

令和8年7月30日 庁議議事要旨

庁議開催日		令和8年7月30日
報告⑦	報告タイトル	外国人への納期内納税に向けた取り組み（第二弾）
	所管部署	総務部
	報告内容	住民税制度の理解促進と納税の意識づけを図るため、区内在住の外国人向けにTikTok動画による「納期内納税」を促す取り組みを行う。普通徴収の第二期納期限である8月末日に向けて、8月3日に税金の使い道等を紹介した動画を公開する。また、10月上旬に税金の滞納処分等を紹介した動画を公開予定である。
報告⑧	報告タイトル	令和8年度江戸川区商品券まつり
	所管部署	産業経済部
	報告内容	商店街を中心とした区内対象店舗でお得に買い物ができる「区内共通商品券まつり」の販売を開始する。申し込み期間は、紙券であるプレミアム付商品券が8月1日から8月31日まで、デジタル券であるPayPay商品券が10月1日から10月25日までである。紙券は各商店街で配布される申し込みハガキまたは区商連ホームページから、デジタル券はPayPayアプリから申し込む。プレミアム率は紙券10%、デジタル券20%で、利用できる期間は紙券が10月1日から12月31日までの3か月、デジタル券は11月2日から12月31日までの2か月である。紙券、デジタル券ともに申込額が販売額を超過した場合、抽選となる。
報告⑨	報告タイトル	令和7年度各保険料収納率の23区順位
	所管部署	福祉部・健康部
	報告内容	令和7年度の介護保険料の収納率は、前年度より0.22ポイント上昇し97.65%で、23区順位は前年度8位より2つ上がり6位であった。国民健康保険料の収納率は、前年度より1.15ポイント上昇し85.05%で、23区順位は前年度10位から2つ上がり8位であった。後期高齢者医療保険料の収納率は、前年度より0.21ポイント上昇し99.06%で、23区順位は前年度3位より1つ上がり2位であった。
報告⑩	報告タイトル	歯科口腔保健活動に関する連携協定の締結
	所管部署	健康部
	報告内容	区が推進する歯科口腔保健及び公衆衛生の施策に関し、専門的知見に基づく助言を受けることで、区民の健康の保持推進及び施策の質の向上を図ることを目的として、8月14日にヘルスマネジメントツール合同会社と連携協定を締結する。主な連携項目は、（1）歯科口腔保健及び公衆衛生施策、事業、計画等に関する専門的助言、（2）地域保健、母子保健、学校保健、成人保健、高齢者保健、障害者支援における歯科口腔保健に関する技術的助言及び連携体制に関する助言、（3）災害時における歯科保健医療に関する助言、（4）その他歯科口腔保健活動に関わる取り組みである。
報告⑪	報告タイトル	令和8年度ゲートキーパー養成講座
	所管部署	健康部
	報告内容	9月10日、タワーホール船堀にて令和8年度ゲートキーパー養成講座を開催する。自殺についての理解を深め、日常生活の中で出会う人の自殺のサインに気づき、必要に応じて専門相談機関につなげることができる人材の育成を行うことが目的である。申し込みは、8月3日からオンラインまたは電話で受け付ける。
イベント①	報告タイトル	えどがわ都市交流フェス
	所管部署	文化共育部
	報告内容	8月22日、タワーホール船堀にて「えどがわ都市交流フェス」を開催する。友好都市・姉妹都市等の魅力や地域資源のPRを行うとともに、物産や観光情報の紹介を通じて、区民が各都市を身近に感じる機会を創出し、都市間交流を図ることが目的である。交流の歩みを紹介するパネル展示、特産品等の販売や観光PR、ぬりえや缶バッジ制作等のワークショップ等が予定されている。